

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

| | | | | | |
|------|----|-----|---------|-----|-------|
| 学校番号 | 72 | 学校名 | 浜松南高等学校 | 校長名 | 井口 辰夫 |
|------|----|-----|---------|-----|-------|

| 評価 | 基準 | 評価 | 基準 |
|----|---|----|--|
| A | 十分目標を達成することができた (達成値 \geq 目標値+5ポイント) | C | あまり目標を達成することができなかつた (-5ポイント $>$ 達成値 \geq -10ポイント) |
| B | おおむね目標を達成することができた (+5ポイント $>$ 達成値 \geq -5ポイント) | D | ほとんど目標を達成することができなかつた (達成値 $<$ -10ポイント) |

*基準は目安であり、数値の限りではない。

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|-------------|-----------------------|--|--|----|---|
| ア 高い志を育む | (ア) 自己理解を深めさせる | 自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒 80%以上 | 自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒 <u>(85.2) %</u> | A | <全教員・進路課・図書課> ・総合やLHRでの取り組みを通じ、自分の進路について考えさせることができた。 ・昨年度より下がったが、1, 2年生の進路希望調査の結果ではもう少し高く、低学年での指導をさらに充実させる。 ・探究の在り方を再考し、進路につながっていくようになるとより良くなる。 ・図書館にも進路を考える上で役立つような書籍が多くあるので、生徒にアナウンスしていきたい。 |
| | (イ) 志を育む情報や機会を提供する | 自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒 70%以上 | 自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒 <u>(66) %</u> | B | <全教員・進路課・理数科> ・進路意識が高まるにつれて、不安やストレスを感じる生徒が増えるものなので、職員全体で適切に対応できるよう情報を共有したい。 ・探究の時間を更に「進路探究」として深めたい。 ・オンリーワン講演などで心を動かされる生徒は多いようだが、逆に「自分には何もない」と考えてしまう場合もあるかもしれない。 ・変化が求められるタイミングとを感じる。 ・理数科の教育目標の一つであり働きかけのノウハウを普通科にも普及させる。 |

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|-------------|---------------------------------------|--|--|----|---|
| | (ウ) きめ細かな進路指導を行う | 進路指導が充実していると答える生徒 80%以上 | 進路指導が充実していると答える生徒 <u>(78.5) %</u> | B | <p><全教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・模試の前後の指導により、模試を有効活用することができた。 ・進路課や総合担当の先生方の計画をもとに、総合探究の時間を中心によく取り組んでいた。 ・保護者対象の進路説明会を見ていると、1年から一貫した方針が打ち出されている。 ・全学年で評価が著しく下がっており、直接的な原因を探る必要がある。 ・考え方が変化してきているので、国公立だけでなく私立に関する情報ももっと提示しても良いと思う。 |
| イ 学力を伸ばす | (ア) 知識・技能、思考力・判断力・表現力、学習意欲等を育む授業を充実する | 授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身についたと答える生徒 85%以上 | 授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身についたと答える生徒 <u>(74.2) %</u> | C | <p><全教員・教務課・研修課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が結果を自分事として受け止め、わかりやすい授業づくりに臨む。 ・そうした授業を目指す教員の割合は91.5%と高いが、生徒の意識と乖離があり、生徒の実態に即した内容を検討すべきである。 ・生徒のニーズが変化に対応していかなければいけないタイミングになったの考える。 |
| | | 授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができた と答える生徒 80%以上 | 授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができた と答える生徒 <u>(74.8) %</u> | B | <p><全教員・教務課・研修課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト等で求められる思考力等の育成を意識した授業展開を継続させる。 ・教員の割合は86.4%で生徒の意識と乖離がある。生徒の心構えと家庭学習の質、思判表の評価なども併せて考える必要がある。 ・教科間や共通テスト、日常生活につながるような授業にしていかなければいけないタイミングと感じる。 |

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|-------------------------|------|--|---|----|---|
| | | 授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 80%以上 | 授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 <u>(71.9) %</u> | C | <全教員・教務課・研修課・情報管理課> ・興味湧き学習意欲が高まる工夫を意識した授業が必要。 ・前2項の「わかりやすさ、深い思考」と密接な関連がある。2年連続で数値が下降している点から、今まで以上に生徒理解を深めて授業改善に努めたい。 ・GoogleFormを利用した各先生方のアンケート調査は普及した。 |
| (イ) 主体的な学習習慣を身につけさせる | | 家庭学習時間 平日2時間以上 休日3時間以上 主体的に学習する習慣があると答える生徒 70%以上 | 家庭学習時間 平日2時間以上 休日3時間以上 <u>(54.4) %</u> 主体的に学習する習慣があると答える生徒 <u>(61.7) %</u> | C | <全教員・教務課・進路課> ・各教科からの課題の量が適量なのか再考が必要。自主性を育みたい一方、与えられないとやらない生徒も多い。 ・学習意欲については受験に向けて生徒個人がやるかやらないかで結果が決まってくるので、継続的に声掛けをしながら、頑張らせていきたい。 ・進路に対する「志」育成と両立させながら伸ばしていく必要がある。 ・家庭学習時間も減少しており、スタディサポートなどの調査に基づいた、学習習慣の確立のための指導が必要である。 ・生徒の意欲が学習でないところにあると感じる。その中で、学習につながるような指導を考えていかなければいけないと思う。 |
| | | 補習等授業以外の学習機会が充実していると答える生徒 80%以上 | 補習等授業以外の学習機会が充実していると答える生徒 <u>(77.3) %</u> | B | <進路課・情報管理課> ・スタディサプリの活用を考えてきたが、成果が出ていない。 ・もっと、補習を受けられる環境を作っても良いと感じる。 ・個別最適化学習の促進の面からスタディサプリの活用は必要である。 |

様式第3号

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|--------------|--------------------------|---|--|----|--|
| | | 学習活動で励ましあ う友人がいると答える 生徒 90%以上 | 学習活動で励ましあ う友人がいると答える 生徒 <u>(84.6) %</u> | B | <p><全教員・進路課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年でのイベントなどを通し、クラス内の団結・連携する力を育成できたことが、学習面での励まし合いにもつながっている。 ・主体的に学習に取り組む姿勢と相関がある。高校生活がずっとコロナと共にある生徒ばかりになっていることも人間関係の作りにくさに影響しており、よい打開策が見つからない。 ・他人に関心を持たせられるような指導が必要であると感じる。 |
| | | 月に1冊以上読書をして いると答える生徒 70%以上 | 月に1冊以上読書をして いると答える生徒 <u>(63.5) %</u> | B | <p><全教員・図書課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書で月に1冊程度読めるとは思うので、今後も朝読書の徹底を図りたい。全職員の同意と協力が必要である。 ・学習面以外の生活面や読書などその他の事柄に対する関心が希薄に感じられる。広く関心を持ち自己管理できることが学習環境の基盤につながると思うので、生活の中で自己を見つめるような声かけも必要と感じる。 ・きっかけとして朝読書は大切である。 ・共通テストで問題を読み切れないことが多々あるようであり、目的を明確にすることで読書につなげることはできると思う。 |
| ウ 人間力を高める | (ア) 自己管理 力を高め る | 遅刻・早退・欠席計3 回以内 90%以上 毎日朝食摂取 95%以上 睡眠時間6時間確保 55%以上 | 遅刻・早退・欠席計3 回以内 <u>(68) % (2学期まで)</u> 毎日朝食摂取 <u>(84.3) %</u> 睡眠時間6時間確保 <u>調査無</u> | C | <p><全教員・厚生保健課・生徒課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が確立している生徒が多いが、メンタルヘルスの問題で体調を崩す生徒が増えている。 ・不注意による遅刻が一定数越えた生徒に対しては、挨拶運動を課すことで、一部の生徒には遅刻減少の効果が見られた。 ・学習する意義を考えさせる機会が不十分であった。 |

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|--|------|--|--|----|--|
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・長欠者が年々増加していることが気になる。そこに対する対応を見直していくことも必要と感じる。 ・基本的な生活習慣が整っていない生徒が多くなっている。これが、学習面にも出てきているのではと感じる。この部分への指導は必要と思う。 |
| | | 交通法規を守っていると答える生徒 90%以上 重大な交通事故 ゼロ 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 80%以上 | 交通法規を守っていると答える生徒 <u>(87.9) %</u> 重大な交通事故 <u>(0) 件</u> 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 <u>(68.3) %</u> | B | <全教員・生徒課・総務課> <ul style="list-style-type: none"> ・遵法意識やマナーを守る意識は低下してきているように感じる。 ・「予測」する力を付け、加害・被害事故を減らしていく必要がある。 ・津波（地震）を想定した、実際の避難訓練の必要性を感じる。 ・法規もそうだが、マナーの部分でも欠如している生徒が増加した。繰り返し指導をしていくしか方法はないと考えている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、避難訓練が十分に行われなかったため、今後の対策を考えたい。 ・交通法規を守っていると答える生徒の割合と普段の登下校の様子を合わせて考えると、生徒の認識と実態が乖離しているように思う。地道に指導していくしかないと思う。 |
| | | 校則やマナーを守っていると答える生徒 90%以上 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 90%以上 | 校則やマナーを守っていると答える生徒 <u>(88.4) %</u> 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 <u>(80.8) %</u> | B | <全教員・生徒課> <ul style="list-style-type: none"> ・グレーゾーンを自分の都合のいい解釈にしたり、安きに流れる傾向が強い。 ・校則が変わったこともありラインが曖昧で指導にも差があり、「言われなければOK」という甘い考えで行動してしまう生徒を律するような指導の方法を考えていく必要がある。 ・もっと挨拶ができる学校にしたい。 |

| | 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|---------------------|---------------------|--|--|----|---|
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・校則の大幅変更により、生徒は自らに都合が良い解釈をしたり、先生方は幅ができたことで指導がしにくいという状況が起きた。その中で、守るべき部分を提示することで共有をしたい。 ・マナーについては今年度に入って、少しずつ悪化しているように感じる。 |
| | (イ) 主体性・創造性・協働性を育てる | 学校行事により人間力が高められたと答える生徒 80%以上 | 学校行事により人間力が高められたと答える生徒 <u>(82.5) %</u> | B | <全教員・生徒課> <ul style="list-style-type: none"> ・研修旅行は、担当教諭を中心に事前・事後研修を充実したものにすることができた。 ・生徒に考えさせる主体的な学校行事にしたい。 ・コロナ禍の中、工夫をしながら生徒が達成感や充実感を得られる行事が実施できた。今年度以上に生徒主体の運営ができる行事にしていきたい。 |
| | | 部活動により人間力が高められたと答える生徒 80%以上 部活動と学習活動を両立させている答える生徒 70%以上 | 部活動により人間力が高められたと答える生徒 <u>(80.2) %</u> 部活動と学習活動を両立させている答える生徒 <u>(71.9) %</u> | B | <部活動顧問> <ul style="list-style-type: none"> ・よくやっていると感じる。結果も大切だが、「心の育成」あつてのことと思う。 ・コロナで思うように活動できていないことの影響が大きく表れ、生徒の成長の度合いが鈍いと感じている。 ・学習面に比べると、部活動に力を注ぎたい生徒が少し増加してきているようにも感じる。部活動時だけでなく普段から学習・部活動がつながるような指導を行っていく必要があると思う。 |
| 工 安全・安心な教育環境を整える | (ア) 施設・設備を整備する | 学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 校内美化（掃除等）に努めていると答える生徒 | 学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 <u>(77.5) %</u> 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 <u>(68.2) %</u> 校内美化（掃除等）に努めていると答える生徒 | B | <事務部・全教員・総務課・厚生保健課・情報管理課> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化により傷みのある施設等もあるが、点検による早期発見、優先順位を考慮した修繕に努めた。引き続き、安全・安心な教育環境整備を心がける。 ・施設や備品の老朽化は多くの所でみられる。その中で、校舎の建て替えが決まり、新しいものの購入や修繕が減って |

様式第3号

| 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果と課題 |
|------------------------|---|--|----|--|
| | 80%以上 | (79.2) % | | <p>いくことが不安である。生徒の活動や安全にかかわる部分の施設や備品は確保できたらよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策に関する施設・設備は整えられていると思うが、生徒に情報提供が十分にできていない。 ・ネットワーク設備は整ってきた。プロジェクターは補充が必要である。 ・環境整備委員会の活動は活発だが、清掃活動への取り組みが消極的な生徒やごみの持ち帰りができない生徒もいる。 |
| (イ) 教育相談活動を充実する | 悩みを相談できる人がいると答える生徒 85%以上 | 悩みを相談できる人がいると答える生徒 (83.2) % | B | <p><厚生保健課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有シートや教育相談員会を学期末に1回ずつ開催し、情報共有を図ることができた。 |
| (ウ) 広報を充実する | (本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて) わかりやすく伝わっていると答える保護者 80%以上 | (本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて) わかりやすく伝わっていると答える保護者 (73.1) % | B | <p><教務課・情報管理課・管理職></p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新頻度にばらつきがある。中学生向けを意識して、定期的アップをしたい。 ・HPの構成を生徒も交えて考える必要がある。 |
| (エ) 業務改善を図り教職員の健康を保持する | ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100(全国平均)を下回る | ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100(全国平均)を下回る | C | <p><管理職・厚生保健課・情報管理課・生徒課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事にメリハリをつけ、各自、時間外労働時間を意識する。 ・管理職は今まで以上に職員観察をしっかりと行い、積極的に声掛け等を実施していく。 ・業務の偏りが多いと感じる。「断るが得。受けるが損。」のような状況ができてきているように感じる。育成をする仕事は、職員全員で行うことであり、やりたいこととやりたくないことを選ぶものではないと思う。やりたいことだけをやり、やりたくないことはやらなくてよいような状況は無くし、組織の一員としての心構えを持って教育活動に励んでいきたい。 |